

# ともに・・・

R7. 7. 18

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

## めあてを達成する姿が・・・

### ～宿泊体験学習 2 日目～

宿泊体験学習 2 日目。朝のつどいで、この学習のめあてにある“自分たちで考え、協力できる最高の高学年になろう”を改めて共有し、2 日目の活動がスタートしました。

この日のメインの活動は、いかだ体験です。水着に着替えた子どもたちは、坂道を下り、海まで移動しました。

ライフジャケットを装着し、まず所員の方から説明を受けます。「いかだは、一人の力じゃ進みません。協力が必要です。しっかり考え、みんなで一緒にがんばりましょう」といういかだ体験の意義と注意事項を聞いた子どもたち。3つの活動班に分かれ、地上に置いているいかだを運んで海に浮かべ、乗り込みます。どうやら遠くの浮きを回って戻ってくるようです。

活動班毎出発。オールを動かし、乗ったいかだが前へ進み始めました。子どもたちは、「ワッショイ！ワッショイ！」「1・2！1・2！」とかけ声を合わせ、オールを動かそうとがんばっています。いかだも順調に進み始めました。



ある班の順番になりました。しばらくすると、進みたい方向とは異なる方向に進んでいます。試行錯誤しながらなんとか自分たちで進む方向を修正し、ゴールまでたどり着こうとがんばっています。そうしてなんとかゴールに到着することができました。

各班一通りいかだ体験を終えた後、今の体験を踏まえ、どうやったらもっとうまくいかだが進むか、話し合いを持ちました。この活動班は、人数の関係上、5人班が2班、4人班が1班です。バランスや力関係で難しさも出てきます。

いよいよ2回目のチャレンジです。今度は3艘のいかだが同時にスタート。1回目よりも子どもたちのかけ声が大きく、スムーズにいかだが進んでいます。1艘目、2艘目と順調にゴールに向かいましたが、3艘目が力の関係で進む方向がずれてゴールになかなかたどり着けません。すると、先に戻っていた子どもたち全員が、応援を始めたのです。「こっち、こっち！」「いいよ、いいよ！」・・・そして、みんなの「ワッショイ！ワッショイ！」のかけ声と声に合わせた手拍子が響き始めました。



応援を受けて、オールを漕ぐ手にも力が入ったのか、とうとう3艘目もゴール！みんなで喜び合いました。先にゴールした班は、すでにいかだを所定の位置に片づけていたので、応援していた子どもたちは、着いたばかりのいかだを、協力して一緒に片づけています。



子どもたちの心が、また一つになった瞬間であり、胸が熱くなりました。

その後、短時間でしたが、海水浴を楽しみました。退所式の後昼食をとって、2日間の宿泊体験学習は、幕を閉じました。

この宿泊体験学習を通し、子どもたちは、自分たちで決めた当初のめあて・約束について、振り返りました。子どもたちは、活動班はもちろん、活動班を越えて、進んで考え、みんなで協力する姿を見せることができました。この体験を通し、“自分で考え、協力できる最高の高学年”に着実に近づいていることを強く感じた充実した宿泊体験学習でした。



## いよいよ夏休み

1学期もあっという間にすぎ、終業式を迎えました。本日までの約4か月間、「自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成」を学校教育目標に据え、『学び合う子 大切にしよう子 きたえよう子』という3つの子ども像にせまるべく、さまざまな取組を行ってまいりました。これまでも本通信でお知らせしてきましたが、子どもたちの姿からその成長ぶりも確かなものとなってきています。

保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、この場を借りてお礼申し上げます。

明日から夏休みが始まり、子どもたちはご家庭での生活が中心となってまいります。ご家庭でも、「子どもが自ら考え挑戦していけるよう、指示は最小限に控え、子どもに考えさせ、任せる姿勢や待つ姿勢」を、ぜひ大事にしたいと思っています。

そして、学校から出された夏休みの生活のきまりを守りながら、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

夏休み後、一段と体も心もたくましくなった子どもたちと再会できることを楽しみにしております。